運営会議たより

１２月/2018年/NO.36

発行■特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議（認定法人）［鎌倉市市民活動センター指定管理者］
TEL0467-60-4555 FAX0467-61-3928 ■E-mail:npo@chive.ocn.ne.jp ■http:// npo-kama.sakura.ne.jp/uk/

■特集■P2～3

「二十周年記念事業を振り返って」

映画と市民活動

この夏、市民活動フェスティバルで映画「おだやかな革命」を上映しました。ご覧になった方々からはご好評をいただきましたが、ご覧になれなかった方もあるかと思いますので、この映画のこととそれに関連して市民活動について日頃考えることを少し書きます。

映画の上映を考えたのは、今、活動を行っている方だけでなく、将来の活動の担い手にもフェスティバルに来てほしかったからです。映画は「エネルギー事業による地域経済の自立」とそれを下支えする「おだやかに進行する意識の変革」を描いていましたが、フェスティバルのテーマを「地元ではじめる仲間づくり、まちづくり」としたのも「地域のつながり」がまずあって、そこから市民活動が始まるのではないかという考えを企画メンバーの間で話し合ったことからでした。市民活動に参加するのは社会貢献のためでもありますが、言いかえれば自分たちの手で納得のいく暮らしやすい環境を整えるためなのではないかと思います。そのベースにあるのが地域とつながる「根っこのある暮らし」であり、「皆と何かをやっているという関係性」です。映画ではそのような事例を沢山紹介していました。

私たちがこれまで体験したことのない人口減少社会に向かう中で、過去の延長として未来を見るか、未来から振り返って現在を考え行動することで過去の価値をも変えていく生き方を選択するか。映画の中で「人口減少社会という希望」の著者・広井良典さんは問いかけていました。

また、監督の渡辺智史さんと環境ジャーナリストの枝廣淳子さんの対談の中にも様々なご指摘がありました。例えば「新しいことにチャレンジする人たちを抑えつけず、地域にとって大切な同士として受入れ、仲間にしていく包容力のある地域になっているかどうか」あるいは「社会保障とか交付金とか、上から降りてくるお金がどんどんなくなっていく中で、自分たちで財源を確保していく、与えられるものではなく自分たちで作っていくことで希望が生まれる」など。

これらの指摘は市民活動にも繋がる大切なことではないでしょうか。

（西畑　直樹）

■*鎌倉市市民活動センター運営会議（以下、運営会議）は、*
市民活動団体支援を目的とする中間支援組織です

■*運営会議は、鎌倉市市民活動センター　鎌倉・大船2館の指定管理者です*

■*鎌倉における市民活動の活性化と自立を支援し、共に豊かな地域社会をめざします*

二十周年記念事業を終えて

記念事業実行委員長　水谷　紀明

皆さまのご協力の賜物で、一連の記念事業を成功裡に終えることができました。心からお礼申しあげます。

高度情報化社会、価値観の多様化などなど、現代の潮流変化はあまりに急で、私ども旧世代の人間にはなかなかついて行き難いですが、と言って、ただドアの前で立ちすくんでいるだけではどうにもなりません。みんなの知恵と工夫を集結し、重い扉を打ち破らなければ明日は見えて来ません。時代に即応した思考やノウハウも積極的に取り込む必要があるでしょう。

記念事業の統一コンセプトは「和をつなぐ。輪をひろげる。」でした。『和』は和み、和らぎ、人の和です。『輪』は友だちの輪、活動の輪。先人たちが大切に育んできた思いを恙なく次代に継承し、新たな人材を得て活動の活性化を図ることは何も新しいことではなく、市民活動を進める上で不可欠の要件ではないでしょうか。

第20回フェスティバルでは、昨年以上の数の高校生ボランティアが、ホールやギャラリーでのイベントに、会場全体の整理に、と大活躍してくれました。生徒の参加を快諾してくださった各校の校長先生方、現場できめ細かくご指導くださった先生方、ありがとうございました！こうした連携を続けていくことが、私たちの活動の持続可能性を確固たるものとするための推進力となるに違いありません。フェスティバルでは、ホールで上映した映画「おだやかな革命」も、農村が舞台の地味な作品にもかかわらず、２８０人収容のホールがほぼ満席の大盛況でした。上映後の渡辺智史監督と枝廣淳子さんとの対談も含め、皆さんから「素晴らしい映画を観せてもらった」「これこそ、市民活動だ！」など、嬉しい反響が多く寄せられました。

記念誌は従来型のお堅い「紀要」のようなものでなく、『つなげる』『ひろげる』を意識して、気軽に手に取ってもらえる情報誌スタイルにしました（デジタル版も追って登場します。お楽しみに）。活動にじかに携わる皆さんの『想い』や『願い』が溢れ出る誌面になったのでは、と思います。多ジャンルの活動団体や近隣ＮＰＯセンター関係の方々、市職員の皆さんなどからも原稿が寄せられました。また、高校生取材班による記事は確かな読み応えで、未来への期待が高まります。編集作業では、記念誌委員会のメンバーが、原稿集めや校正など手間のかかる作業で大いに汗をかいてくださいました。

「かまくらファンド」は二十周年特別企画として、従来より多額の支援金を用意。選考基準は「個々の団体の殻を破り、積極的に他の団体とつながって、ひろがって協働する活動であること」とし、８事業が選ばれました。今後、対象団体の選考にはこの基準が適用されるようになりそうです。

私は委員長として記念事業の全体構想やコンセプト作り、記念誌の企画・構成などの骨格作りに出精しましたが、その後自身の大きな環境変化により全体委員会への出席も叶わなくなりました。代わって全体の舵取りをしてくれた浅利副委員長を始め、平塚理事長、フェスティバルや大交流会を仕切ってくれた西畑センター長、記念誌の原稿整理や校正作業の音頭取りに頑張ってくれた浅井事務局長、各小委員会のメンバー、センタースタッフの皆さん、そして末筆ながら、各種ご協賛をくださった方々に、改めて厚くお礼申しあげます。皆さんの情熱とご努力抜きで事業の成功はあり得ませんでした。



次期指定管理について

鎌倉市市民活動センターの次期指定管理（２０１９年４月１日～２０２２年３月31日）について、10月３日、選定委員会において、審査が行われました。

今回は、当運営会議の他に一団体が応募しており、競合となりましたが、当運営会議が指定管理者候補として選定されました。今後、12月の市議会での議決を経て指定管理者として指定される予定です。

市民活動センターの指定管理者選定の経過を詳細に知りたい方は、鎌倉市のホームページに掲載されていますので、ご覧ください。

第19回かまくらファンド公開審査会開催（報告）

11月3日、「第19回かまくらファンド公開審査会」がたまなわ交流センターで開催されました。

本年はＮＰＯセンター設立20周年事業の一環として、記念事業の総合コンセプト『和をつなぐ。輪をひろげる。』に沿って、助成対象を従来より広げて、単一団体の活動に加え、団体同士の共同事業または事業目的の異なる団体の連携事業を応募の対象にいたしました。また、助成金の総額も１００万円に増額しました。

そのため、例年を大きく上回る23事業、延べ53団体から応募があり、今回は公開審査会の前に書類選考を行うことになりました。書類選考で選ばれた13事業によるプレゼンテーションの結果、別表の８事業に助成することとなりました。



◇ SDGs みらい塾（鎌倉ユネスコ協会）
◇ 今泉台オレンジライン ハロウィン 2019（今泉台町内会、こども会、商店会、デイサービスほか 11 団体）
◇ 鎌倉の里山の再生事業（北鎌倉さとやま連合会（5 団体））
◇ 「鎌倉谷戸の記録」製本化事業（鎌倉の今昔探索の会）
◇ 鎌倉『つぐむもの』プロジェクト（らしくる鎌倉ほか 4 団体）
◇ ハイキングコース案内板の設置（鎌倉文化の森、山桜を守る会）
◇ 第 3 回いるかとのふれあい　in 下田海中水族館（発達障がい児支援グループ「ふれんど」）
◇ 市民提案による常盤山歴史公園コンセプトブック策定（鎌倉常盤山の会、鎌倉みどりのレンジャー）

設立二十周年記念「交流会」開催

２０１８・１２・１

鎌倉市市民活動センターが開設され、それらの運営を行う「特定非営利活動法人市民活動センター運営会議」も二十周年を迎え、フェスティバルやかまくらファンド審査会の拡大開催や記念誌発行など、二十周年記念事業を行ってまいりましたが、その締めくくりとして、12月1日、鎌倉パークホテルにて、一緒に活動する市民活動センター登録団体の皆様とともに交流会を開催いたしました。

来賓として松尾市長、認定ＮＰＯ法人 藤沢市民活動推進機構の手塚明美様をお招きし、参加者は１６０名を数えました。

バンド演奏や参加者全員での合唱など、楽しいひと時を過ごしました。











平成 30 年度イベントスケジュール

月	指定管理事業	自主事業
1 月	第 3 回利用登録団体懇話会（1/26）	
2 月	【講座】市民活動経理のキホン（2/2） 【講座】団体資金の考え方と助成金制度（2/23）	【講座】相続のキホン（2/2） 第 2 回全員会議（2/23）
3 月	鎌倉パートナーズ発行　第 90 号	運営会議たより発行　第 37 号
4 月	地下道ギャラリー展示（4/26-5/7）	
5 月		第 20 回通常総会（5/25 予定）



鎌倉市市民活動センター20 周年記念誌を発行いたしました。
NPO センター鎌倉、大船で無料頒布しています。

［目次］

団体紹介
　国際　3 団体、福祉　5 団体、文化　10 団体、子ども　3 団体、
　生活環境　5 団体、自然環境　6 団体、まちづくり　9 団体
勇気をくれる魔法の言葉
市民活動は“脳”に効く！
20 周年に寄せて
第 20 回かまくら市民活動フェスティバル
鎌倉市市民活動センター運営会議 20 年間のあゆみ
20 年間のあゆみに添えて
市職員の市民活動体験
鎌倉市市民活動センター運営会議とは



「勇気をくれる魔法の言葉」入りうちわをプレゼント！

あなたが勇気づけられる好きな言葉を書いて応募ください。書道家が墨書した特製うちわを 50 名様にプレゼントします。詳しくは、記念誌 29 ページをご覧ください。

運営会議は会員によって支えられています。入会随時です。

〈会費〉
正 会 員
　個人正会員　2,000 円
　団体正会員　3,000 円
賛助会員
　個人 1,000 円、2 口以上
　団体 1,000 円、3 口以上

正会員数	74 名
団体正会員数	10 団体
賛助会員数	25 名
賛助団体数	195 団体

（12 月 1 日現在）



鎌倉市市民活動センター運営会議は「認定 NPO 法人」格を取得しています
“あなたのご寄附が、鎌倉の街を元気にします”
ご寄附いただいた場合、「寄附金控除」制度が適用され、確定申告で税金の還付が受けられます
お問合せは NPO センター鎌倉まで！！